

令和4年度大分県民スポーツ大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

【 26 セーリング 】

1. 競技会感染対策ガイドラインについて

- ・日本セーリング連盟セーリング協議に関わる大会等再開時のガイドライン 2020.6.10
を参考

2. 各競技運営上での感染対策について（以下の項目を参考して記載すること）

セーリングの競技中は、基本的に屋外で、しかも風の流れのある海上で継続して帆走するため、密となる可能性は他競技に比べると低い競技です。そのため、関係者への対策は、会場に到着まで、および陸上での対応が中心となります。

参加者には、感染拡大の防止のために遵守すべき事項を明確にして、協力を求めます。これを遵守できない参加者には大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを事前に周知します。遵守すべき事項は、

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること（陸上ではマスクを着用すること）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ2m以上）
- ⑤ 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと
- ⑥ 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに報告すること

競技中は波しぶきによりマスクが濡れて呼吸ができなくなるため、マスク着用は義務付けませんが、陸上においては着用を徹底します。参加者には体調の確認と当日の検温を行います。当日の検温については、なるべく来場前に各自で検温し報告していただきます。

（参加者への連絡や当日の体調、検温の報告はLINE オープンチャット、Google フォームを活用予定）

参加受付時では参加者が密になることへの防止や手指消毒液を設置し、人と人が対面する場所は、アクリル板を準備します。筆記用具などは使用后すぐに消毒します。

更衣室、トイレ、手洗い場は、大きさに応じて一度に入室する人数を制限し、こまめな換気と消毒を心がけます。出入り口には手指消毒液を設置します。

会場内での飲食はなるべく避け、必要の際には個々の距離を開けるよう注意いたし、飲料の放置や飲み回しは避けるよう注意喚起をします。

競技説明や表彰式は簡素化し、密集を避けます。

その他、接触アプリ [COCOA] を推奨するなど必要に応じて対策いたします。